



# 中国国際全印展視察ツアーレポート



展示会と現地工場見学「上海5日間の旅」

KPMAでは、6月14日から17日までの4日間、中国・上海新国際博覧中心において開催される中国国際全印展「All in Print China 2006」視察ツアーを実施し、組合員企業の経営者及び従業員ら10名が参加した。

◀ 大日本スクリーン製造(株)の現地組立工場前で記念撮影

13日午前、視察団一行は関西国際空港から上海・浦東空港へ。到着後は経済成長著しい中国を引っ張る上海の近代的な街並みを車窓から観光しながら宿泊先のヒルトン上海へ。そして夕刻、中国印刷技術協会主催の晩餐会に招待され、全員で出席した。晩餐会を主催する「中国印刷技術協会」は今回の中国国際全印展の主催者でもあり、中国の印刷技術の向上と世界の印刷業界との交流に貢献する団体。宴席では中国式の回転テーブルで次々に出てくる食事を楽しみ、アジア各国から参加の印刷技術関係者とともに盛り上がった。

翌日の14日は、中国国際全印展を見学。上海郊外の新しい工業と商業の街・浦東地区にある中国で一番新しい見本市開催施設「新博覧センター」は、エントランスホールを中心に東西に伸びる巨大なL字型構造で、天井の高い作りの会場には26カ国から671社におよぶ出展企業が集まり、69,000㎡の敷地を何万人もの関係者が埋め尽くしていた。

また、この日からアジア協力サミットのために上海中の様々な所で交通規制が行なわれており、宿泊先への帰り道は、高速道路に乗れずに少し時間がかかった。

この日の夕食は、(株)モリサワの森澤会長の招待で、上海東駿燕海鮮酒家にて

豪華海鮮料理を堪能した。

3日目の15日は、杭州郊外の経済・技術推進地区にある大日本スクリーン製造(株)の現地組立工場を視察。約1時間の講演・質疑応答の後、工場内を見学した。最先端のISO取得工場では、わかりやすくキッチリとした部品の管理、そしてコンビやチームを組んで、互いに教え合いながら組み立てていく工程など、現地の従業員が日本語は堪能ではなくても、間違いの無い組立ができる環境づくりや、デリケートな部品を清潔な環境で保管する努力などを学んだ。

また杭州観光では、マルコポーロが世界で一番素晴らしい観光地と絶賛し、楊貴妃が親しんだ西湖のほとりで記念撮影。

4日目の16日は上海市内を観光。清の時代にヨーロッパの中国進出の拠点となった上海の街は、現在では中国の近代化の最先端となっており、外灘や豫園、租界、老街など一部を残して、街並みのほとんどは東京や大阪と変わりはなく、それ以上の近代的なビルが乱立する大都市。「東方明珠タワー」を観光したほか、オプションツアーで、有名な「上海雑技団」を鑑賞した。

最終日の17日は、午前中に専用車で空港へ。約2時間で関西空港に到着し、通関を済ませて解散した。



▲ 展示会場入り口のオーロラビジョン



▲ 活気ある展示会場内



▲ 上海観光で訪れた豫園

## 行事予定

### 1. パソコン研修会(エクセルコース 入門編)

日 時：平成18年8月5日(土) 9:00~17:00

場 所：大阪産業創造館 5階 パソコン実習室1

参加費：無料

定 員：14名

### 2. パソコン研修会(エクセルコース 応用編)

日 時：平成18年9月2日(土) 13:00~17:00

場 所：大阪産業創造館 5階 パソコン実習室1

参加費：無料

定 員：14名(入門編 参加者優先)

### 3. ビアパーティ

日 時：平成18年8月30日(水) 19:00より

場 所：カリフガーデン

参加費：1人当たり ¥2,000